

事業評価書（事前・事後）

平成18年8月

評価対象（事業名）	地域医療連携のための電子カルテシステム導入補助事業	
担当部局・課	主管部局・課	医政局研究開発振興課医療機器・情報室（旧医療技術情報推進室）
	関係部局・課	

1. 事業の内容

(1) 関連する政策体系の施策目標

	番号	
基本目標	1	安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること
施策目標	3	利用者の視点に立った、効率的で安心かつ質の高い医療サービスの提供を促進すること
	I	医療サービスの質の向上を図ること

(2) 事業の概要

事業内容（新規・一部新規）				
地域において中心的役割を果たしている医療機関と周辺の医療機関が、医療情報ネットワークを構築し、患者の診療情報を共有すること等によって、質が高く効率的なチーム医療・グループ診療の実践が可能な地域医療連携体制の構築を図るため、当該補助事業により、電子カルテの導入の推進を図っている。				
予算概算要求額				(単位：百万円)
H14	H15	H16	H17	H18
531	528	203	230	229

(3) 問題分析

①現状分析

医療分野のIT化の推進は、厚生労働省による平成13年12月公表の「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン」及び、政府IT戦略本部による「e-Japan戦略」に基づいて、その目的を達成するために電子カルテの推進についても平成14年度から補助事業を行ってきたが、電子カルテの普及は進んでいるとは言い難い状況となっている。また、当初は電子カルテシステム等の普及そのものに焦点のあたった感があったが、現状では取組の視点は利活用に移り、平成18年1月に内閣に設置されているIT戦略本部より公表された「IT新改革戦略」では診療情報連携に向けた医療情報インフラの整備等の必要性等が指摘されている。

②問題点

業務の効率化、患者の利便性の向上や医療の質の向上を期待される電子カルテシステムの導入に対して、医療機関の関心は高い。しかし導入及び設置後の保守管理にかかるコストは未だに安価ではないことが普及の推進の妨げの要因となっていると考えられる。

③問題分析

電子カルテシステム導入における業務の効率化の効果は、規模が大きい医療機関ほど多いとされ（中小の医療機関では、業務が大規模な医療機関ほど複雑化していないため、電子カルテシステム導入における業務効率化の利点は低い）、経営基盤の弱い中小の病院や診療所では導入を躊躇している状況にある。

④事業の必要性

それぞれの医療機関は違った電子カルテシステムを採用しており、相互運用性が不足しているのが現状である。その為、電子カルテシステム間での地域医療の連携への活用は十分ではなく、システム間の相互運用性を構築するためのインフラ整備の必要性が指摘されている。

(4) 事業の目標

目標達成年度								
政策効果が発現する時期								
アウトプット指標		H13	H14	H15	H16	H17	目標値/基準値	
普及率	病院 (400床以上)	—	2.5%	—	—	集計中	全国の400床以上の病院と全診療所のそれぞれ6割	
	一般診療所	—	2.6%	—	—	集計中		
(説明) 平成18年度までに全国の400床以上の病院と全診療所のそれぞれ6割以上への普及をはかることを目標としている。				(モニタリングの方法) 医療施設調査 (平成17年度の集計結果は18年秋頃に予定)				
参考指標 (過去数年度の推移を含む)				H13	H14	H15	H16	H17
(説明)				(モニタリングの方法)				

2. 評価

(1) 必要性

行政関与の必要性の有無 (主に官民の役割分担の観点から)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> その他
(理由)			

医療分野の IT 化の推進は政府決定であり、普及の初期段階の期間においては、国の責任の下に IT 化を促進するための種々の施策を講じる必要がある。	
国で行う必要性の有無（主に国と地方の役割分担の観点から）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無 <input type="checkbox"/> その他
<p>(理由)</p> <p>IT 化の推進には様々な関係分野における標準化の推進が必須であり、その為には地方主体でなく、国が主体となって進める必要がある。</p>	
民営化や外部委託の可否	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否
<p>(理由)</p> <p>質が高く効率的なチーム医療・グループ診療の実践が可能な地域医療連携体制の構築を図ることは、行政の支援と指針の下、公共の利益を目的として医療機関自らが行うものであり、当該支援等は特に国家主導が求められ、民営化や外部委託になじむ事業ではない。</p>	
緊要性の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無 <input type="checkbox"/>
<p>(理由)</p> <p>平成 13 年度に IT 戦略本部が閣議決定した「e-Japan 重点計画」において、「日本が 5 年以内に世界最先端の IT 国家となる」という目標を掲げ、国の施策として早急に IT 化へ向けた取組を進める必要があるとして、医療分野の IT 化についても同様にその実現に向けての取組を行ってきたところである。また、平成 18 年 1 月には IT 戦略本部により「IT 新改革戦略」が公表され、「世界に先駆けて 2010 年度には IT による改革を完成する」と宣言されており、それに向けての早急な取組が必要とされているところである。</p>	

(2) 有効性

政策効果が発現する経路
<p>診療情報の共有化のモデル事業により、当該医療機関における情報化が図られ、実際に情報化がもたらされる事で生じる効果の検証が行われた。その結果、情報化によりもたらされる効果が明確になり、各医療機関における情報化の取組が本格化した。</p>
これまで達成された効果、今後見込まれる効果
<p>電子カルテシステムの普及については、補正予算を活用した個々の医療機関への導入補助や、医療機関同士が電子カルテシステムを通じて患者情報を安全にやりとりできるネットワークを確立するためのモデル事業を各年度予算で段階的に実施し、それぞれのモデル事業において安全なネットワークの確立が実証された。また、平成 17 年度からは、地域の中心的役割を果たしている医療機関に Web 型電子カルテシステムを導入する事業を実施しているところである。（参考：平成 14 年度～ 17 年度までに当該補助事業により電子カルテが整備された地域数 18 地域）Web 型電子カルテシステムとはセキュリティを確保したインターネット等を介して周辺の診療所から電子カルテシステムを活用できるようにするものであり、地域単位での電子カルテシステム導入を目的とするものである。電子カルテシステムによる業務効率化の利点の低い中小の医療機関の導入費用負担軽減が行える事、地域における医療機関間の連携がスムーズに行える等の利点があり、これにより電子カルテシステムの普及と地域医療連携がより一層図られるものと期待されている。</p>
政策の有効性の評価に特に留意が必要な事項

なし。

(3) 効率性

手段の適正性	
(a) 当該事業事務を行わない場合、e-Japan 重点計画及び IT 新改革戦略において定められた施策の達成は困難。	
(b) 当該事務事業を行った場合、国の強力な支援により、e-Japan 重点計画及び IT 新改革戦略において定められた施策の達成に向け、積極的な取組が可能となる。	
費用と効果の関係に関する評価	
地域の中心的役割を果たしている医療機関に Web 型電子カルテシステムを導入することで、セキュリティを確保したインターネットを介して周辺の連携医療機関がその電子カルテソフトを活用することが可能となる。これにより、周辺の中小病院や診療所が電子カルテシステムを導入する際の費用や保守料の低減、短期間での導入が可能となり、電子カルテシステムの一層の普及促進につながるものである。	
他の類似事業（他省庁分を含む）がある場合の重複の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
(有の場合の整理の考え方)	

(4) その他

なし。

(5) 反映の方向性

評価結果を踏まえ、平成19年度予算概算要求において所要の予算を要求する。

3. 特記事項

①学識経験を有する者の知見の活用に関する事項 なし。
②各種政府決定との関係及び遵守状況 電子カルテ普及促進の目的がある政府決定の施策 ◇ e-Japan 重点計画-2002（平成14年6月18日 IT 戦略本部決定） ◇ e-Japan 重点計画-2003（平成15年8月8日 IT 戦略本部決定） ◇ e-Japan 重点計画-2004（平成16年6月15日 IT 戦略本部決定） ◇ IT 政策パッケージ-2005（平成17年2月24日 IT 戦略本部決定） ◇ IT 新改革戦略（平成18年1月19日 IT 戦略本部決定）
③総務省による行政評価・監視等の状況 なし。
④国会による決議等の状況（警告決議、付帯決議等） なし。
⑤会計検査院による指摘

なし。